

うつ（日本うつ病学会）
リワーク（日本うつ病リワーク協会）
〔共催セッション〕

プログラム

ランチョンセミナー 1～13

イブニングセミナー

共催シンポジウム 1～2

共催市民公開講座

ランチョンセミナー1

現地

ライブ

2022年7月14日(木) 11:50~12:50

第2会場「3F 大会議室」

LS1 復職継続を目指した勤労者うつ病治療～働く機能まで回復させる～

座長

徳永 雄一郎 医療法人社団新光会不知火病院

演者

堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

共催

持田製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社
吉富薬品株式会社

ランチョンセミナー2

現地

ライブ

2022年7月14日(木) 11:50~12:50

第3会場「1F 小ホール」

LS2 うつ病に併存する不眠症の治療戦略

座長

渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

演者

稲田 健 北里大学医学部精神科学

共催

イーザイ株式会社

ランチョンセミナー3

現地

ライブ

2022年7月14日(木) 11:50~12:50

第4会場「3F 302+303」

LS3 うつ病の多面的理解と治療への導入

座長

寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

演者

中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

共催

武田薬品工業株式会社
ルンドベック・ジャパン株式会社

ランチオンセミナー4

現地

ライブ

2022年7月14日(木) 11:50～12:50

第5会場「2F 201+202」

LS4 うつ病におけるリモートヘルスケア

座長

井上 猛

東京医科大学精神医学分野

演者

坪井 貴嗣

杏林大学医学部精神神経科学教室

長嶋 浩貴

東京センタークリニック/臨床研究センター

共催

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

ランチオンセミナー5

現地

ライブ

2022年7月15日(金) 12:10～13:10

第2会場「3F 大会議室」

LS5 精神疾患におけるパーソナルリカバリー

座長

鈴木 映二

東北医科薬科大学医学部精神科学

演者

渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

共催

住友ファーマ株式会社

ランチオンセミナー6

現地

ライブ

2022年7月15日(金) 12:10～13:10

第3会場「1F 小ホール」

LS6 うつ病のミクログリア仮説 ～抗炎症作用を目的とした栄養療法の可能性～

座長

功刀 浩

帝京大学医学部精神神経科学講座

演者

加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

共催

ノーベルファーマ株式会社

株式会社メディパルホールディングス

ランチオンセミナー7

現地

ライブ

2022年7月15日(金) 12:10～13:10

第4会場「3F 302+303」

LS7 双極性障害の再発・再燃抑制を考える ～鑑別診断、脳メカニズム、アンメットニーズから探る～

座長

川崎 弘詔

福岡大学医学部精神医学教室

演者

松尾 幸治

埼玉医科大学医学部精神医学

共催

大塚製薬株式会社 メディカル・アフケアーズ部

ランチョンセミナー8

現地

ライブ

2022年7月15日(金) 12:10~13:10

第5会場「2F 201+202」

LS8 あらためて遅発性ジスキネジアの診断・治療・当事者への影響を考える

座長

尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

演者

坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

共催

田辺三菱製薬株式会社 育薬本部
ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー9

現地

ライブ

2022年7月16日(土) 12:20~13:20

第3会場「1F 小ホール」

LS9 エビデンスに基づいた不眠症治療薬の切り替え方法

座長

寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

演者

小曾根 基裕 久留米大学医学部神経精神医学講座

共催

イーザイ株式会社

ランチョンセミナー10

現地

ライブ

2022年7月16日(土) 12:20~13:20

第4会場「3F 302+303」

LS10 うつ病治療における「真のrecovery」に向けて

座長

三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

演者

渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

共催

ヴィアトリス製薬株式会社
住友ファーマ株式会社

ランチョンセミナー11

現地

ライブ

2022年7月16日(土) 12:20~13:20

第5会場「2F 201+202」

LS11 日本人の臨床データから紐解く、日本人のうつ病治療
- GUNDAM再び大地に立つ -

座長

徳永 雄一郎 医療法人社団新光会不知火病院

演者

加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座

共催

Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー12

現地

ライブ

2022年7月17日(日) 12:20～13:20

第2会場「3F 大会議室」

LS12 うつ病と睡眠障害－不眠に対する薬物療法－

座長

寺尾 岳

大分大学医学部精神神経医学講座

演者

内村 直尚

久留米大学

共催

MSD 株式会社

ランチョンセミナー13

現地

ライブ

2022年7月17日(日) 12:20～13:20

第5会場「2F 201+202」

LS13 発達障害とうつ病 ～臨床における課題と社会復帰～

座長

徳永 雄一郎

不知火病院

演者

岩波 明

昭和大学医学部精神医学講座

共催

吉富薬品株式会社

持田製薬株式会社

イブニングセミナー

現地

ライブ

2022年7月14日(木) 17:30～18:30

第3会場「1F 小ホール」

ES 睡眠・覚醒リズムに着目した双極性障害の診断と治療

座長

川崎 弘詔

福岡大学医学部精神医学教室

演者

高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

共催

共和薬品工業株式会社

吉富薬品株式会社

共催シンポジウム1

現地

ライブ

双極症のアンメットメディカルニーズを再考する

2022年7月15日(金) 9:50~11:50

第2会場「3F 大会議室」

【趣旨・狙い】

近年、世界保健機構のICD-11策定を機に、差別や偏見の課題からdisorderを「障害」から「症」に訳す動きがみられ、双極症の当事者/家族をはじめ社会全体での積極的な認知度向上が図られるようになった。一方で、双極症の課題として、うつ病をはじめとする精神疾患との鑑別診断が困難であること、抗うつ薬の使用是非といった医療上の課題、また労働生産性の低下に悩んでいる当事者も多く、自殺および自殺関連行動も含めた社会上的課題が挙げられる。今回、「働ける人も働けない人も個性性が尊重される精神医療をめざして」のテーマを掲げた本大会にて、当事者個々が希望する様々なパーソナルリカバリーの達成を見据えて、双極症のアンメットメディカルニーズを再考することが本シンポジウムのねらいである。当日は当事者の視点、医療従事者の視点から、双極症を取り巻くアンメットメディカルニーズについて多角的に議論をしたい。

総司会

高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

座長

加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座

Lecture1

双極症を早期に診断するーうつ状態を難治化・複雑化させないために

演者

武島 稔

医療法人明心会柴田病院

Lecture2

理想と現実のギャップから見る双極症治療の臨床課題

演者

田中 輝明

KKR札幌医療センター精神科

座長

高江洲 義和

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

Discussion

パネリスト

加藤 忠史

順天堂大学医学部精神医学講座

武島 稔

医療法人明心会柴田病院

田中 輝明

KKR札幌医療センター精神科

松浦 秀俊

株式会社リヴァ 双極はたらくらボ

共催

住友ファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部

共催シンポジウム2

現 地

ライブ

うつ病における認知機能障害への手引き ～症状改善から働く機能改善への実践～

2022年7月17日(日) 9:30～11:30

第2会場「3F 大会議室」

【趣旨・狙い】

近年、うつ病において注意、記憶、遂行機能の低下といった認知機能障害を示すエビデンスが蓄積され、抑うつ症状消失後の寛解期であっても残遺症状として認知機能障害を呈する患者が多いことが明らかになりつつある。残存する認知機能障害は、復職や復学などうつ病患者の社会復帰を阻む要因となり、治療目標の達成やリハビリに重大な悪影響を及ぼすことが明らかとなっている。これらのことから、うつ病の認知機能障害に対する実践的な評価手法や介入方法について医療従事者の関心が非常に高まっている。

本シンポジウムでは、うつ病における認知機能障害の評価と臨床における実践的な対処法をテーマとして、これまでに得られた最新知見を紹介するとともに具体的な評価ツールや介入方法に焦点を当てる。さらに臨床心理士や産業医から見た認知機能障害の治療意義や患者ケアにおける評価手法の活用例、医療従事者間連携の留意点や課題等についても意見交換する場としたい。

座 長

加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座
堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

- COS2-1 **うつ病の経過と認知機能障害**
前嶋 仁 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
- COS2-2 **うつ病の認知機能障害に対する介入方法と評価尺度について**
池澤 聡 東京大学大学院総合文化研究科
- COS2-3 **心理士(師)が担う認知機能評価をめぐる役割と実践**
越川 陽介 関西医科大学精神神経科学講座
- COS2-4 **うつ病復職支援の実際と認知機能評価の重要性**
阿竹 聖和 NTT西日本九州健康管理センタ

共 催

武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス
ルンドベック・ジャパン株式会社 メディカルアフエアーズ部

共催市民公開講座

現地のみ

うつ病の理解と対応～それぞれの思い描く日常生活を取り戻すために～

2022年7月17日(日) 14:00～16:00

第1会場「1F 大ホール」

【趣旨・狙い】

うつ病を含む気分障害と診断された人は、約20年前に比べると約2.5倍に増加し、100万人程度と報告されています（The global burden of disease 2004）。また、現在ご存知の通り、全世界に被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症は、うつ病を含む気分障害の患者数を増加させ、さらに日常生活にも影響を及ぼしており、その対策が課題になっています（Gunnell D他2020、Damian S他2021）。

本講座では、うつ病に関する理解を深めていただくことにより、当事者の方がうつ病から回復しそれぞれの思い描く日常生活を取り戻すために大切なことについて、また周囲の方々が当事者の皆さまに対してどのようなサポートができるのかについて皆さまとともに考える機会にしたいと思います。

司 会

神庭 重信 一般社団法人日本うつ病センター(JDC) / 飯田病院 / 九州大学名誉教授

大会長挨拶

寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

講 演

COL-1

身近な人の「こころの不調サイン」に気付いたら？ ～メンタルヘルス・ファーストエイドの紹介～

加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

COL-2

うつ病からの回復－日常生活を取り戻す－

中村 純 不知火クリニック/JDC・産業メンタルヘルスセンター / 産業医科大学名誉教授

パネルディスカッション

司 会

神庭 重信 一般社団法人日本うつ病センター(JDC) / 飯田病院 / 九州大学名誉教授

パネリスト

中村 純 不知火クリニック / JDC・産業メンタルヘルスセンター / 産業医科大学名誉教授
 加藤 隆弘 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
 野末 聖香 慶應義塾大学看護医療学部
 田島 美幸 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

閉会挨拶

神庭 重信 一般社団法人日本うつ病センター(JDC) / 飯田病院 / 九州大学名誉教授

共 催

日本うつ病学会、一般社団法人日本うつ病リワーク協会、
一般社団法人日本うつ病センター（JDC）、塩野義製薬株式会社

後 援

一般社団法人大分県医師会、大分県精神神経科診療所協会、
一般社団法人大分県公認心理師協会、公益社団法人大分県薬剤師会、
公益社団法人大分県看護協会、公益社団法人大分県作業療法協会

